## 教育委員会だより

「自立」と「共生」~自己肯定感~

令和4年10月27日号 多治見市教育委員会 教育総務課

## 学びを深める秋



依然として、新型コロナ感染が心配な状況ではありますが、ありがたいことに市内の小中学校の指定校による研究発表会が実施されています。9月30日には、南ヶ丘中学校の発表会が、盛大に行われました。『主体的に学び続ける生徒の育成』という研究主題に向かって全校一丸となって取り組んでいる姿を発表されました。教師と生徒、生徒同士の信頼

関係を土台にした素晴らしい授業を参観することができ嬉しく思いました。

また、10月18日には、脇之島小学校の研究発表会が行われました。『仲間

とよりよい生き方をする自分づくり』という研究主題に向けて、道徳の授業を公開されました。子ども達は、『公正、公平』や『規則の尊重』等について、仲間と意欲的に意見交流しながら、自分の考えを深めていきました。いずれの発表会においても、3年ぶりに多くの教員が研究会に参加し、学び合うことができました。



## 兵庫県西脇市議会の行政視察



10月3日に、兵庫県西脇市議会文教民生常任委員会による笠原中学校への視察がありました。 代表の議員さんは、GIGA スクール構想の推進状況を視察し、学校や教育委員会と懇談することで 西脇市の取組に生かしたいという願いを語られました。授業を参観した後の質疑応答では、「先生方には ICT が苦手な方もあるかと思うがどう対応して いるのか?」「保護者のネットリテラシーの取組はあるのか?」等、途切れることなく質

問がありました。また、「機器の扱いに困っている 生徒が見られず驚いた。」「先生方のスキルの高 さを実感した。」という感想もいただきました。教 育研究所長から、全国学力学習状況調査の結 果を基にして、ICT 機器の活用状況とその効果 を実感している児童生徒が、全国及び県より高 い結果が出たことを説明しました。さらに、こうし た結果の要因の一つとして、本市が配置した



ICT 教育推進員の指導助言や支援が、教師や子ども達の ICT 活用力につながっていることを伝えることができありがたく思いました。

## 土曜学習『わがまち多治見の現代陶芸を学ぶ』



今年度5回目の土曜学習講座を 10月8日 にセラミックパーク MINO と現代陶芸美術館で開催しました。参加した子ども達は、大きく2つの体験をしました。1つ目は、現代陶芸美術館での、2つの企画展の鑑賞です。日本だけでなく、世界の現代陶芸作家の芸術作品を目にして、陶芸の世界を楽しんでいました。2つ目は、転写による絵付け体験です。セラミックパーク MINO

の作陶館で、職員の方々の指導の下、マグカップ、さら、お茶碗の中から選んだ陶器に、 オリジナルのデザインを工夫して絵付け体験をしました。どの子も時間を忘れて、作品

作りに没頭していました。転写した作品は、約1ヶ月後に届くようです。子ども達は、iPadで自分の作品を撮影しました。前回は、伝統的な絵付けの技法を学び、今回は転写という現代的な技法を学びました。いずれも多治見ならではの体験でした。地域の皆様方のご協力のおかげで、子ども達は貴重な体験ができました。ありがとうございました。

